

# 佐賀市環境マネジメントシステムの 運用状況について ～令和 5 年度実績報告～

---

佐賀市 環境部 環境政策課

# 環境マネジメントシステムとは

E M S - Environmental Management System

- 企業や団体等の組織が、環境に関する方針や目標を自ら設定し、その達成に向けた取組を実施するための計画・体制・プロセスのこと
- また、こうした環境管理の取組状況について、客観的にチェックを行うことを「環境監査」という
- 環境マネジメントシステムには、環境省が策定したエコアクション21や、国際規格のISO14001がある



# 佐賀市環境マネジメントシステムとは

---

## 目的

- 環境の保護及び改善に資する活動の継続的な推進
- 率先行動及び効果的な行政運営の実現

## 適用範囲 ※市役所全体

- 事務事業や活動
- 全ての職員 約3,000人
- 庁舎、観光・文化・保健施設、学校、教育施設、企業局、病院など

## 実施方法

- ISO14001を参考にした独自のシステムを構築し運用
- 全体を24部門（各部局、各支所及び企業局など）に分け、重点目標や共通目標の達成を目指して、PDCAサイクルにより実施

# EMSの組織と役割

## 管理組織

- 統括者：市長
- 管理組織：環境管理委員会
- 事務局：環境政策課
- 実行組織：全部署

計画実績等の評価  
運用管理・内部監査  
重点目標の設定、進捗管理、報告

## 外部評価組織

- 環境審議会

1	総務部	9	保健福祉部	17	富士支所
2	政策推進部	10	子育て支援部	18	三瀬支所
3	経済部	11	地域振興部	19	川副支所
4	農林水産部	12	国スポ・全障スポ推進部	20	東与賀支所
5	都市戦略部	13	各種委員会	21	久保田支所
6	建設部	14	教育部	22	交通局
7	環境部	15	諸富支所	23	上下水道局
8	市民生活部	16	大和支所	24	富士大和温泉病院

※上記部門は令和5年度の体制。

# 施策目標と共通目標

施策目標 ※環境基本計画に掲げる施策に関する事業

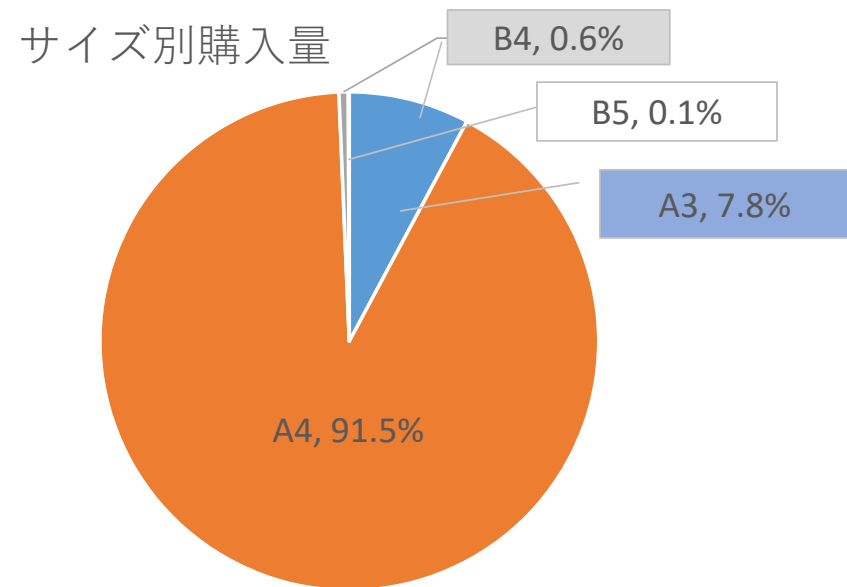
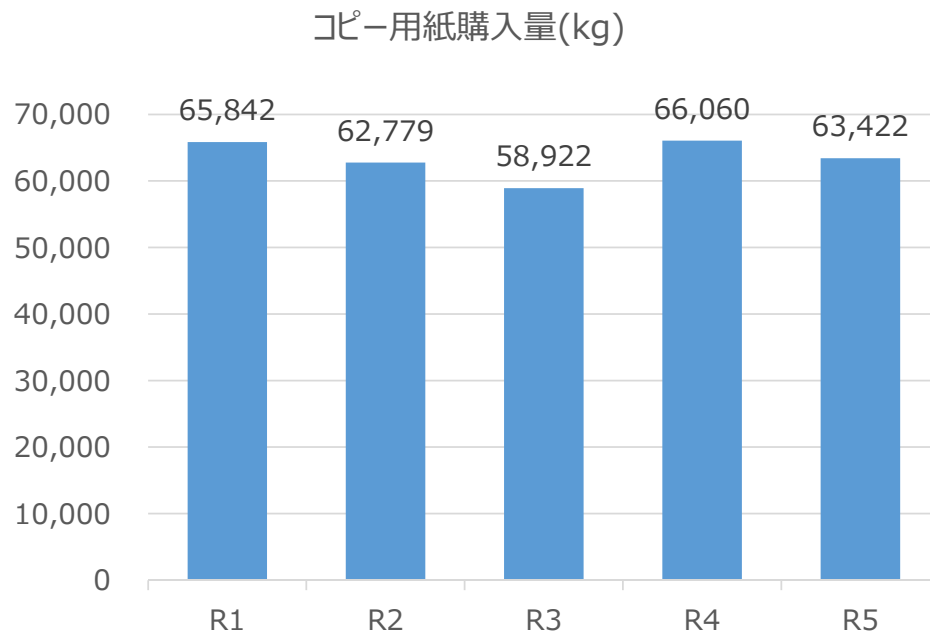
共通目標 ※全庁共通の取組

1	コピー用紙購入量の削減	部門毎に 活動指標を設定
2	職場排出物の抑制	
3	施設エネルギー使用量の削減	
4	自動車燃料使用量の削減	
5	グリーン購入の推進	目標達成率100%

# 達成度

目 標		対象 部門数	目標達成部門数		
			R4	R5	増減
1	コピー用紙購入量の削減	24	9	14	+5
2	職場排出物の抑制	24	6	13	+7
3	施設エネルギー使用量の削減	22	8	12	+4
4	自動車燃料使用量の削減	23	16	18	+2
5	グリーン購入の推進	24	9	8	△1

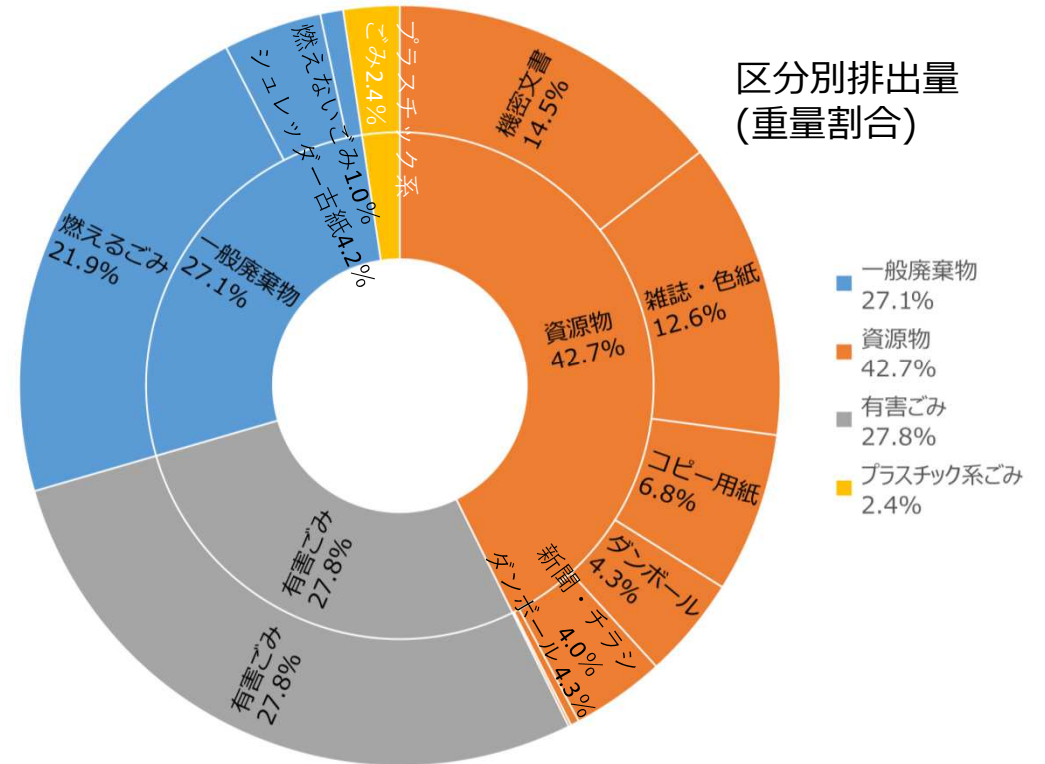
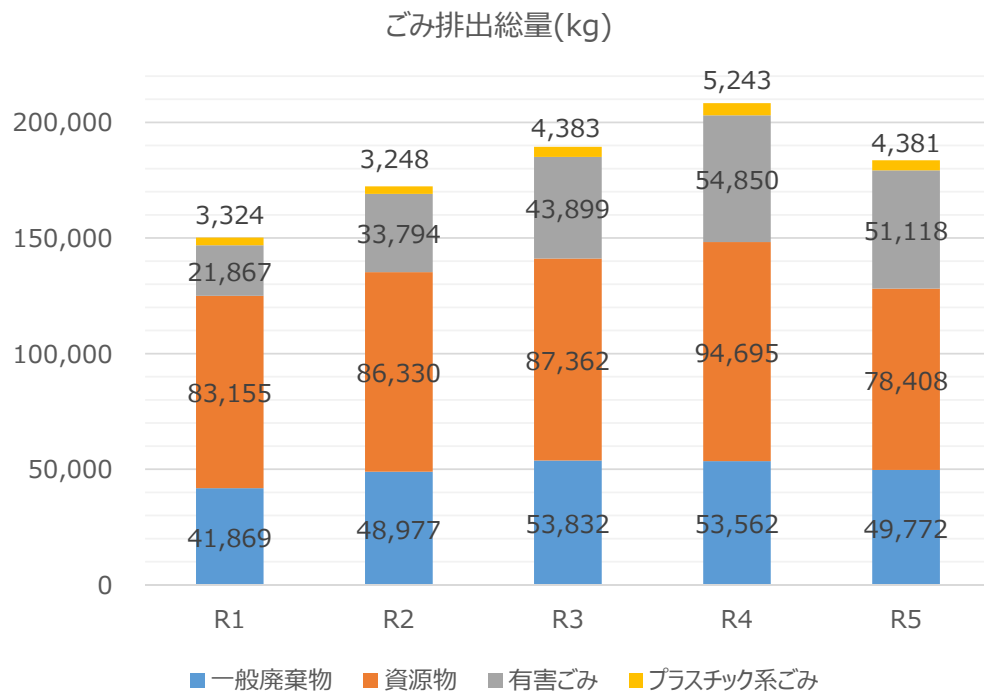
# 1 コピー用紙購入量の削減



※両面印刷、裏紙利用の周知並びに資料のデータ化を図ったことにより、全体で前年度比4%減少している。一部、新型コロナウイルスの規制緩和による会議資料の増加、国スポ・全障スポのリハーサル大会開催などに伴う購入量の増加がみられた。

**共通目標 1** : 総務部、政策推進部、経済部、農林水産部、都市戦略部、建設部、保健福祉部、子育て支援部、  
**達成部門** 地域振興部、教育部、各種委員会、諸富支所、久保田支所、富士大和温泉病院

## 2 職場排出物の抑制

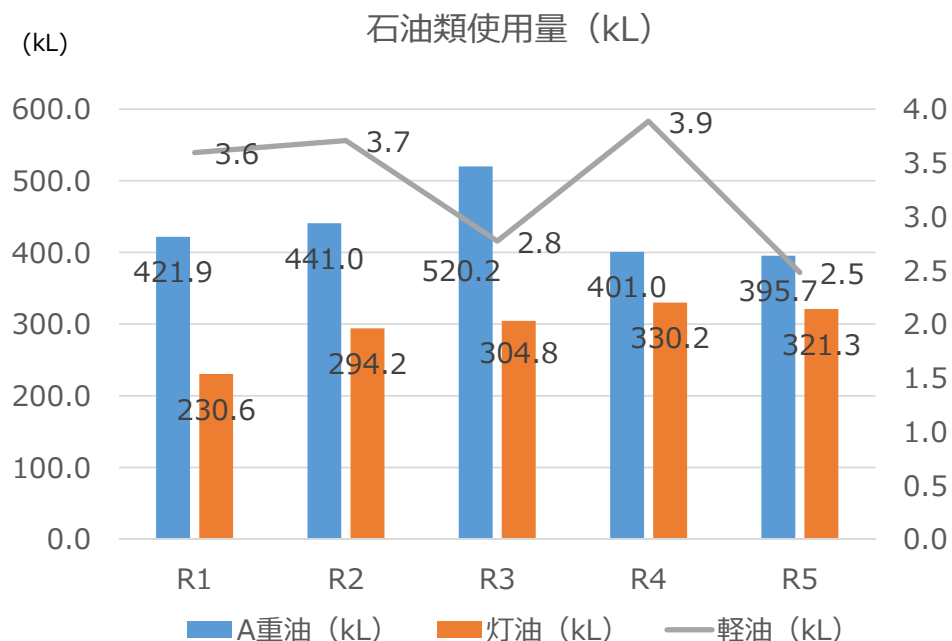
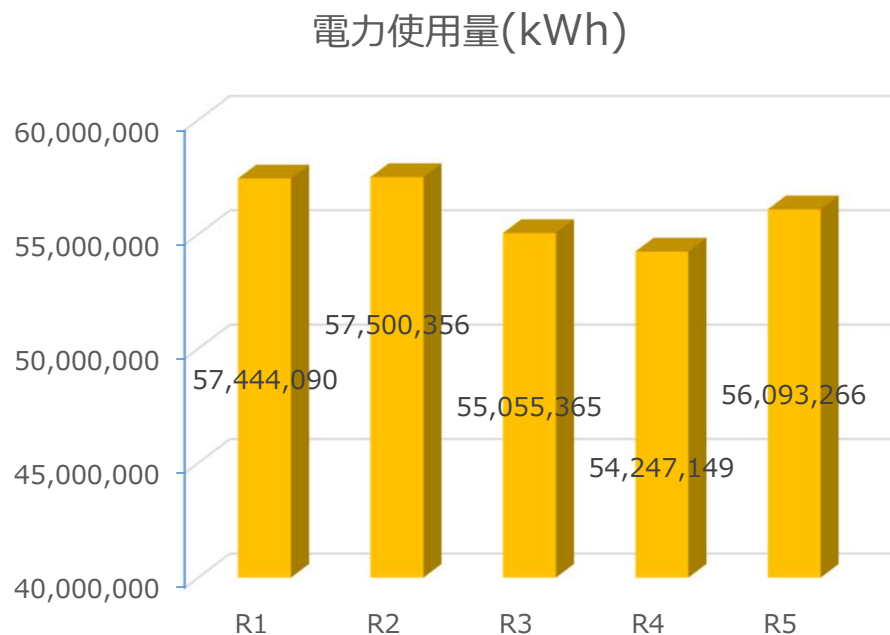


※全体で前年度比11%減少。特に「燃えないゴミ」、資源物「雑誌・色紙」、「機密文書」が大きく減少している。

**共通目標 2**：政策推進部、農林水産部、都市戦略部、建設部、環境部、市民生活部、教育部、各種委員会、  
**達成部門** 諸富支所、富士支所、東与賀支所、交通局、上下水道局



### 3 施設エネルギー使用量の削減（電気・石油類）

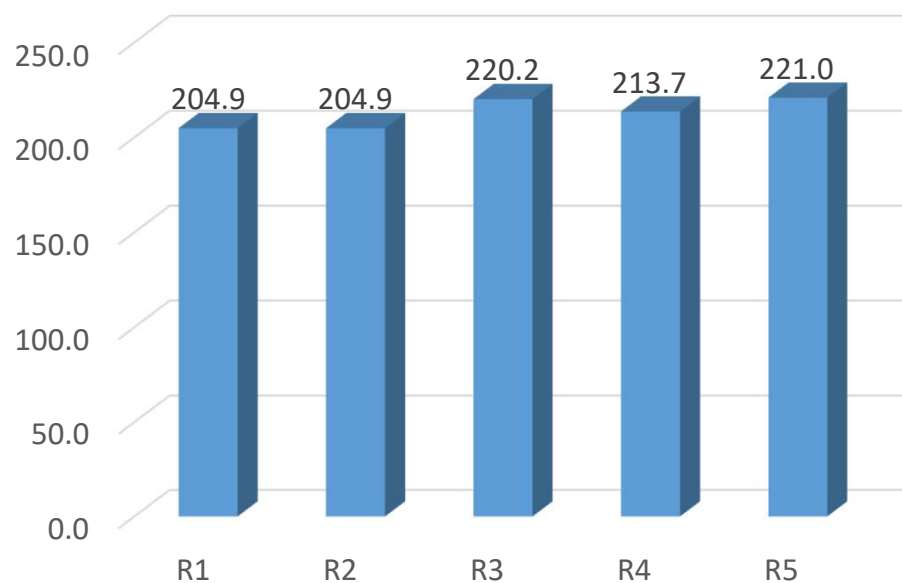


【電力】全体として、前年度比3%増加。主な要因としてコロナ後の活動再開による福祉施設利用者の増加や夏季の空調利用増加に伴うものと思われる。一方で施設のLED化に伴い減少している施設(諸富支所)も見受けられる。

【重油・灯油・軽油】重油・灯油の使用量は令和4年度からほぼ横ばいで推移している。軽油は清掃工場やスポーツ施設での使用量の減少に伴い、36%減少した。

### 3 施設エネルギー使用量の削減（ガス）

LPG使用量（t）

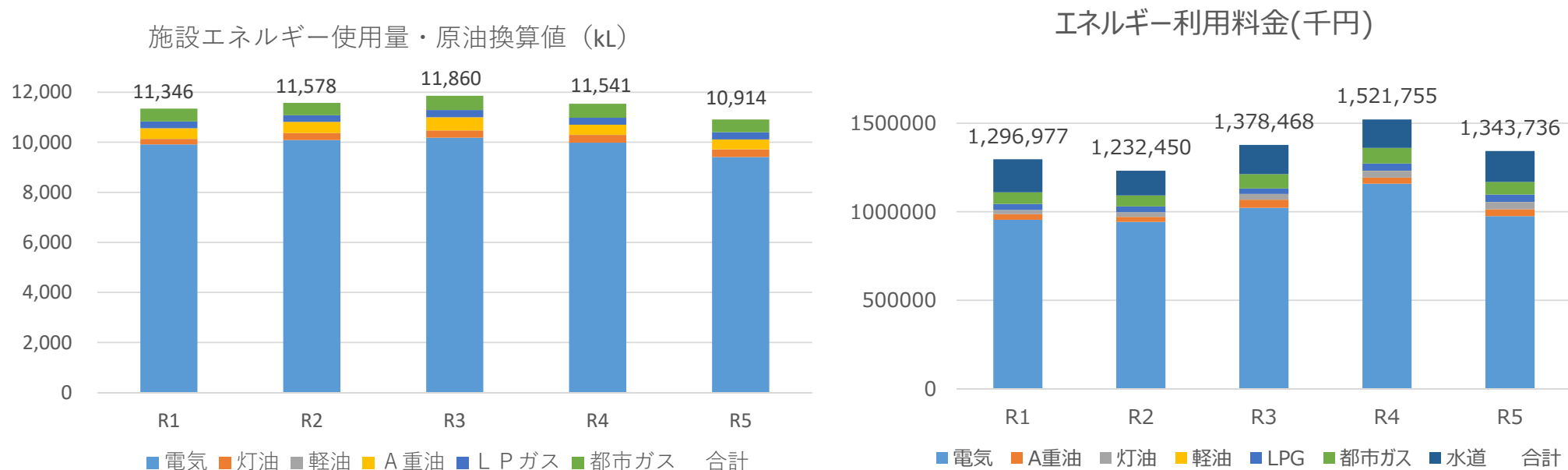


都市ガス使用量（m<sup>3</sup>）



※LPGは対前年度比で約3%の増加、都市ガスは対前年度比で9%減少。

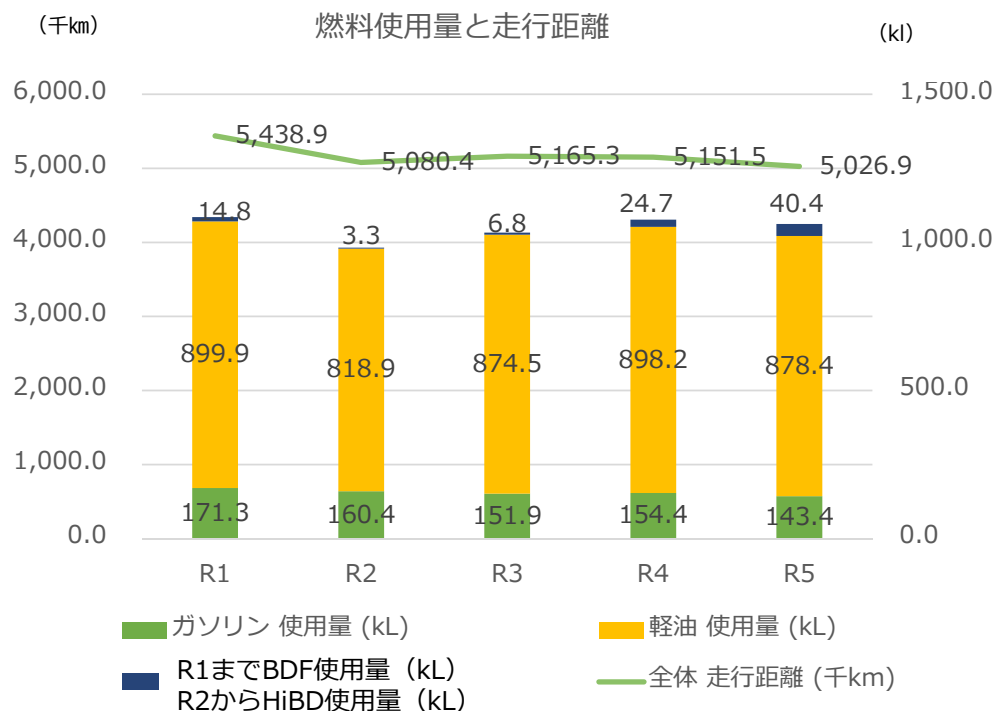
### 3 施設エネルギー使用量の削減（使用量・コスト）



原油換算した値は全体で対前年度比約5%減少している。エネルギー利用料金は対前年度比約12%減少し、約1億8千万円削減できた。使用電力量は増加しているものの、自家発電量(太陽光発電など)も増加しているため、コストダウンに繋がっている。

**共通目標 3** : 政策推進部、経済部、農林水産部、都市戦略部、建設部、環境部、諸富支所、  
**達成部門** 富士支所、三瀬支所、川副支所、久保田支所、富士大和温泉病院

# 4 自動車燃料使用量の削減



## 【走行距離】

・前年度比2.4%減少。

## 【軽油】

・前年度比2.2%減少。

## 【ガソリン】

・前年度比7%減少。

## 【高品質バイオディーゼル（HiBD）】

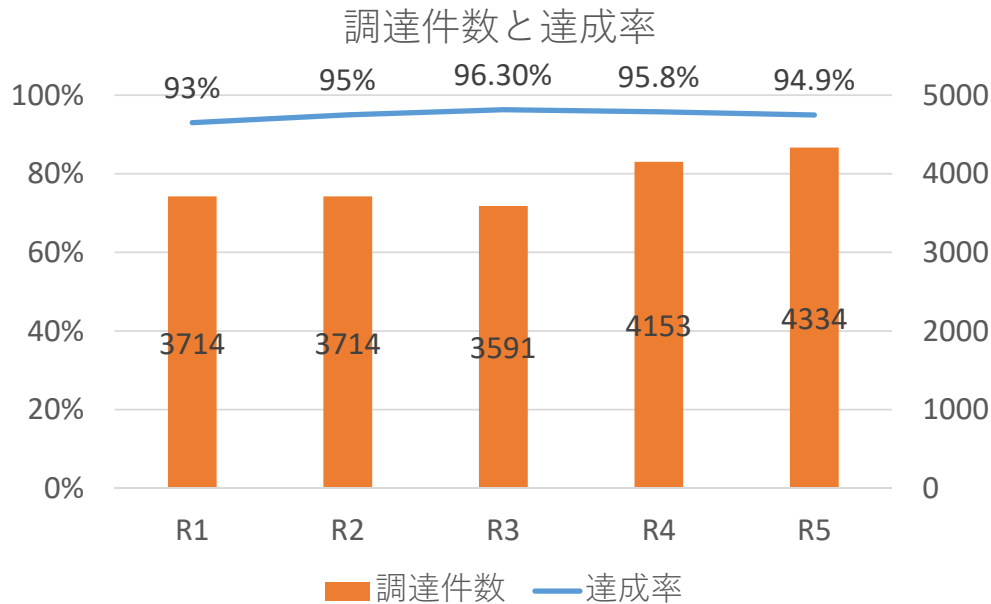
・廃食用油を回収・精製し、軽油と同等質である燃料として利用。

・R2から市営バスとごみ収集車の燃料として使用している。

**共通目標 4**：総務部、経済部、農林水産部、都市戦略部、建設部、環境部、市民生活部、保健福祉部、国スポ・全障スポ推進部、  
**達成部門** 各種委員会、諸富支所、大和支所、富士支所、三瀬支所、久保田支所、交通局、上下水道局、富士大和温泉病院

# 5 グリーン購入の推進

- 全部門で目標達成率100%を目指す。



### 【主な未達成理由】

- ▶ 機能性・安全性等の観点から選択できない
- ▶ 価格が著しく高価である

その他、利便性を重視した理由で未達成というケースがあることや、調達件数が増加傾向であるため、購入する前に必要性を考え、環境への負荷ができるだけ少ないものを購入する、グリーン購入の基本的なことを周知徹底していく必要がある。

**共通目標 5** : 経済部、大和支所、富士支所、川副支所、東与賀支所、  
**達成部門** 久保田支所、交通局、富士大和温泉病院

# 令和5年度内部環境監査

対象部門：保健福祉部、子育て支援部、三瀬支所、富士大和温泉病院、国スポ・全障スポ推進部

評価	内容
不適合	<ul style="list-style-type: none"><li>・環境法令の理解不足による不備（フロン排出抑制法）</li><li>・EMS関連手順書の確認不足による不備（計画書／報告書の環境法令順守状況の報告記載漏れ、排出物の分別不徹底）</li></ul>
改善の提案	<ul style="list-style-type: none"><li>・過去の実績を評価・分析したうえでの適正な目標設定</li><li>・環境法令の再確認</li></ul>
ストロングポイント	<ul style="list-style-type: none"><li>・車両燃料使用量の削減（自転車、バス利用、会議のオンライン参加 等）</li><li>・電力使用量の削減(不要な照明OFF、適切な空調機利用 等)</li><li>・コピー用紙使用量の削減(電子カルテの導入、資料のデータ化 等)</li><li>・資源の有効活用(不要文具等の譲渡、バイオマスプラスチックの利用 等)</li></ul>

※指摘事項については、監査後速やかに是正し、全庁に注意喚起を行っています。

また、ストロングポイントについても他部門の取組の参考となるように全庁に紹介しています。

【令和6年度監査対象】総務部、政策推進部、久保田支所、交通局